

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県立愛川ふれあいの村
 指定管理者 (財) 神奈川県ふれあい教育振興協会
 施設所管課 子ども教育支援課

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月24日	月例業務報告書に基づき、指定管理業務の実施状況を確認したところ、適正に行われている。
11月	12月10日	12月22日	同上
12月	1月12日	1月18日	同上
1月	2月10日	2月23日	同上
2月	3月10日	3月25日	同上
3月	3月31日	4月25日	同上

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る (B) 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

< 提案内容の概要 >

施設の清掃・美化については、定期的に職員による清掃を行い、美観維持に努める。

< 実施状況 >

12月～3月の間、月に2回程度の割合で、宿泊棟のすす払い、各部屋の掃除、ベッドマット等の交換を行った。

< 提案内容の概要 >

施設の維持修繕は、活動の安全確保と事故防止上重要な事項であるため、日常的な安全点検を行い、破損等については迅速な対応に努める。

< 実施状況 >

宿泊棟、体育館の雨漏りについては、生活に支障を来さないよう、迅速な対応をしている。

ガラスの破損等危険箇所の修繕についても、迅速に対応している。

職員による日常点検や定期点検を実施し、安全確保と事故防止を徹底した。

< 提案内容の概要 >

利用者サービスの向上に向け、インターネット等による豊富な情報提供の取組みを実施する。

< 実施状況 >

混乱のないよう、ホームページや電話対応により、指定管理者の変更や次年度の利用等について、利用者への情報提供を行った。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	151,089	148,022	3,067	151,089	0
上半期計 (a)	82,020	74,023	1,499 (1,462)	72,057	9,963
下半期計 (b)	76,700	73,998	714 (1,018)	80,740	△4,040
10月	11,794	10,851	124 (121)	10,886	908
11月	11,344	10,381	94 (102)	11,280	64
12月	18,865	18,600	112 (86)	17,642	1,223
1月	11,019	10,909	76 (112)	10,243	776
2月	9,832	9,519	230 (134)	9,578	254
3月	13,844	13,736	76 (460)	21,109	△7,265
合計 (a+b)	158,720	148,021	2,213	152,797	5,923

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

該当なし

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	該当なし	
支出の状況	該当なし	
積立等の状況	該当なし	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	90,311 人	92,251 人	△2.1 %
下半期計 (b)	36,632 人	42,820 人	△14.5 %
10月	15,387 人	13,067 人	17.8 %
11月	12,913 人	13,283 人	△2.8 %
12月	3,183 人	4,269 人	△25.4 %
1月	1,567 人	2,763 人	△43.3 %
2月	2,497 人	1,994 人	25.2 %
3月	1,085 人	7,444 人	△85.4 %
合計(a+b)	126,943 人	135,071 人	△6.0 %

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

〔 ・ 該当なし 〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月					89	89
11月					56	56
12月					19	19
1月					20	20
2月					22	22
3月					12	12

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			0
11月			0
12月			0
1月			0
2月			0
3月			0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・ トイレが臭い。	詰まっている便器の配管洗浄や定期清掃のほか、職員による清掃作業を行った。
	・ トイレの故障箇所が多く、不便であった。	故障箇所については、すべて修理した。
	・ 宿泊棟、体育館の雨漏りが多く、活動に支障があった。	雨漏りの被害の大きい箇所を重点的に修繕した。
	・ 体育館の床が滑る。	21年度末に剥離清掃とワックス清掃を実施し、22年度は年2回ワックス清掃を実施した。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 上(下)半期の所見等

〔1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。〕

指定管理者

次期指定管理者への引継ぎ等も踏まえて、雨漏り、トイレの故障箇所、ガラスの修理等、施設の維持管理について、安心・安全な施設を目指し、職員や業者による小破修繕を行ってきた。
次期指定管理者に対して、自然観察棟が使用不可能であることや、旧ボイラー、地下タンク貯蔵設備の撤去、第二サイトの浄化槽設備の撤去など、法令に沿った撤去・解体などを引き継いだ。

施設所管課

施設の管理については、利用者の安全・安心を最優先に、上半期に引き続き安全対策の強化に努め、特に施設の小破修繕を積極的に行っている。
また、振興協会と次期指定管理者、所管課による連絡調整会議を計10回、その他に関係機関との顔合わせ等、複数回実施し、円滑な引継ぎを行っている。
また、愛川町をはじめ地域団体や地域住民との親睦を深める機会を実施し、指定管理者が変更になることも踏まえ、地域にその周知を図り、引き続き施設への協力体制ができるよう調整を図っている。
施設の不具合等については、必要な措置を講ずるよう、新指定管理者と連絡調整を行いながら進めていきたい。